

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

契約担当官
航空自衛隊幹部候補生学校
会計課長 稲吉 博和

1 工事概要

- (1) 工 事 名 基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事
- (2) 工事場所 航空自衛隊奈良基地
- (3) 工事内容 本工事は、以下の工事を行うものである。
施設・補給ショップ改修
建築工事 建具・床シート・壁ボード・塗装等
機械設備工事 給水管・給湯管・送風機・大便器・小便器・
洗面器・鏡・洗面化粧台・ユニットシャワー・
給湯器・流し台等
- (4) 工 期 契約締結日～令和9年3月31日
- (5) 本工事は、工事費内訳明細書の提出が義務付けられた、現場閉所により週休2日を確保する『完全週休2日制工事（土日）』の試行対象工事である。
- (6) 本工事は、一般競争参加資格確認申請書を提出し、競争参加資格があると認められた者に対し、入札説明書に示す入札書の提出期限の6日前（行政機関の休日を除く）までに見積参考資料を交付する試行工事である。
なお、「見積参考資料」は、建設工事請負契約条項第1条の設計図書には該当せず、見積書作成の参考資料であり、その有効期限は本工事の開札日までとする。
- (7) 指定品目については、契約後に建設工事請負契約条項第27条第5項（単品スライド）による請求があった場合、1品目としてスライド判定を行う（「特例措置」）ものとする。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 防衛省における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省競争参加資格」という。）のうち、「建築一式工事」、「管工事」のいずれかで級別の格付を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 防衛省競争参加資格「建築一式工事」、「管工事」に係る等級競争参加資格（防衛省資格審査結果通知書（以下「資格審査結果通知書」という。）の等級）のうち「建築一式工事」C～D等級、「管工事」B～C等級のいずれかであること。
- (5) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）、申請書記載の競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）及び資格審査結果通知書の提出期限の日から開札の時点までの期間に、防衛省のいずれかの地方防衛局長又は地方防衛支局長（長崎防衛支局長を除く。）から、工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（防整施（事）第150号28.3.31）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (6) 入札に参加しようとする者との間に資本関係又は人的関係がないこと。
- (7) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している業者でないこと。
- (8) 情報保全に係る履行体制について懸念が存在する者又は業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者は入札参加を認めない。

3 入札手続等

(1) 担当部隊等

〒630-8522 奈良県奈良市法華寺町1578番地
航空自衛隊幹部候補生学校(奈良基地)業務部会計課 担当：須加
TEL 0742-33-3951 (内線229)
FAX 0742-33-5477

(2) 入札説明書等の交付

- ア 交付期間
令和8年10月6日(火)～令和8年11月19日(木)
月曜日～金曜日の午前8時15分から午後5時
- イ 交付場所
(1)に同じ
- ウ 交付書類
入札説明書、仕様書、申請書、誓約書、資料、その他契約担当官が必要と認めるもの。
- エ 交付方法
手交又は郵送
なお、この号ウの交付書類は、公告とともに公示している場合は、奈良基地ホームページの調達情報から入手可能である。

(3) 申請書、誓約書、資料及び資格審査結果通知書の提出期限等

- ア 提出期限
令和8年10月27日(火) 17時00分
- イ 提出方法
持参又は郵送(書留郵便に限る。)若しくは託送(書留郵便と同等のものに限る。)(以下「郵送等」という。)する。

(4) 入札書等の提出期限等

- ア 提出期限
令和8年11月13日(金) 17時00分
- イ 工事費内訳明細書の提出
工事費内訳明細書についても、入札書と同時に提出するものとする。
- ウ 提出方法
郵送等
入札書及び工事費内訳明細書を各々封筒に入れて封かんし、入札書を入れた封筒の表に「入札書在中」と朱書きするとともに、工事名、開札日時及び商号又は名称を記載する。工事費内訳明細書を入れた封筒の表には「工事費内訳明細書在中」と黒書する。さらにこれらを1つの封筒に入れて封かんし、封筒の表に工事名、開札日時及び商号又は名称を記載の上、提出する。また、一般競争参加資格確認通知書(入札説明書第7項第7号に示すもの)の写しを併せて提出する。

(5) 開札の日時及び場所

- ア 日時 令和8年11月20日(金) 13時30分
- イ 場所 航空自衛隊奈良基地 入札室
 - ① 開札は、ア及びイに掲げる日時及び場所において、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。
 - ② 1回目の開札に立ち会わない場合でも、その者から提出された入札書は有効なものとして取り扱う。
 - ③ 再度の入札を行うこととなったときは、契約担当官が示す日時までに再度、入札書を提出するものとし、入札書の提出がない場合は辞退したものとみなす。

4 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金
免除。ただし、落札者が契約を結ばないときは、入札保証金相当額（入札金額の100分の5以上）を徴収する。
- (3) 契約保証金
免除。ただし、落札者は、公共工事履行保証証券又は履行保証保険に係る証券による保証（契約不適合特約（1年間）を付したものに限る。）を付するものとする。この場合の保証金額は、請負代金額（設計等技術業務委託契約書及び事業管理業務委託契約書においては業務委託料。以下同じ。）の10分の1以上（1件につき予定価格が国の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（昭和55年政令第300号）第3条第1項に規定する財務大臣の定める額以上の工事（以下「基準額以上の工事」という。）又は予算決算及び会計令第86条の調査（低落調査）を受けた者との契約については10分以上の3以上の金額とする。
- (4) 入札の無効 次に掲げる入札は無効とする。
ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
イ 申請書、資料を含む提出書類に虚偽の記載をした者のした入札
ウ 入札に関する条件に違反した入札
- (5) 落札者の決定方法
予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。
- (6) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している業者とは契約を行わない。
- (7) 契約書作成の要否 要
- (8) 適用する契約条項
本工事は、航空自衛隊標準契約条項建設工事請負契約条項、適用契約条項及び暴力団排除に関する特約条項を適用する。
- (9) 提出資料等の聞き取りを行う場合がある。
- (10) 関連情報を入手するための照会窓口
3(1)に同じ。
- (11) 競争参加資格の級別の格付を受けていない者の参加
上記2(2)に掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者も上記3(3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて当該資格の格付を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (12) 詳細は、入札説明書による。航空自衛隊奈良基地ホームページ掲載場所は次のとおり。

検索画面で「航空自衛隊奈良基地」と入力 → 奈良基地防衛省〔JASDF〕航空自衛隊 → 調達情報 → コンテンツ一覧の「はじめにお読み下さい」
→ 「工事に係る入札説明書（R8. 1. 13）」及び「工事に係る入札心得書（R8. 1. 19）」並びに「工事費内訳書記載例（R8. 3. 31）」

航空自衛隊仕様書				
仕様書の種類	内容による分類	工事仕様書		
	性質による分類	個別仕様書		
物品番号		幹候校LPS-R99032		
品名 又は 件名	基地建物内ユニットシャワー及び 便所改修その他工事	承認	令和 8 年 1 0 月 2 日	
		作成	令和 8 年 9 月 1 0 日	
		改正		
		作成部隊名	幹部候補生学校 業務部管理課施設班	
1 総則				
1.1 適用範囲				
本仕様書は、航空自衛隊奈良基地内におけるユニットシャワー、便所改修その他工事について適用する。				
1.2 工事場所				
航空自衛隊奈良基地（奈良県奈良市法華寺町1578）別図第1のとおり。				
1.3 工期				
契約締結日～令和9年3月31日				
1.4 改修内容				
工 種		数 量	単 位	概 要 等
建築工事				
1 直接仮設				
(1) 墨出し		1	式	内装改修 9.2 m ²
(2) 養生		1	式	建具改修 9.6 m ²
				内装改修 26.3 m ²
				搬出入路部分 18.8 m ²
(3) 整理清掃後片付け		1	式	建具改修 9.6 m ²
				内装改修 26.3 m ²
				搬出入路部分 18.8 m ²
2 建具改修				
(1) 撤去				
アルミニウム製建具撤去		1	か所	AW-1 1705×1600 mm 枠残し
アルミニウム製建具撤去		1	か所	アルミ戸 1920×800 mm 枠残し
鋼製建具撤去		4	か所	SD-1 2000×800 mm 枠残し
鋼製建具撤去		2	か所	SD-2 2000×800 mm 枠残し

工 種	数 量	単 位	概 要 等
(2) 改修			
1) アルミニウム製建具			
AW-1	1	か所	1705×1600 mm カバー工法
アルミドア	1	か所	1920×800 mm カバー工法
2) 鋼製建具			
SD-1	4	か所	2000×800 mm カバー工法
SD-2	2	か所	2000×800 mm カバー工法
3) 鋼製軽量建具			
LD-1	2	か所	2000×800 mm カバー工法
4) ガラス			
フロート板ガラス	2.6	m ²	t = 3 mm グレイジングチャンネル共
型板ガラス	2.8	m ²	t = 4 mm
ガラスシーリング	38.4	m	SR-1 5×5 シリコーン系
飛散防止フィルム	2.6	m ²	フロート板ガラス面
5) その他			
素地ごしらえ	32.0	m ²	鉄鋼面C種
錆止め塗り	32.0	m ²	鉄鋼面A種
SOP塗り	32.0	m ²	鉄鋼面B種
3 内装改修			
(1) 撤去			
ビニル床シート撤去	3.5	m ²	t = 2.5 mm
化粧積層フローリング撤去	2.3	m ²	t = 15 mm
ビニル幅木撤去	4.0	m	h = 100 mm t = 2 mm
内装タイル撤去	5.2	m	h = 200 mm t = 3 mm
壁ボード撤去	5.1	m ²	ケイ酸カルシウム板 t = 8 mm
四方枠撤去	2	か所	2000×750 mm
四方枠撤去	1	か所	1905×700 mm
軽量鉄骨壁下地撤去	3.1	m ²	65 形
軽量鉄骨壁下地撤去	2.0	m ²	90 形
カランバック撤去	0.3	m ³	CB 下地 モルタル厚 15 mm
コンクリート撤去	0.3	m ³	カランバック部
トイレブース撤去	5.0	m	ポリエステル化粧合板 t = 40 mm
ステンレス天板撤去	2.6	m	W = 410 mm t = 1.2 mm
脱衣棚撤去	2	か所	400×400×20 mm

工 種	数 量	単 位	概 要 等
(2) 改修			
ビニル床シート張り	22.7	m ²	複層ビニル床シート t = 2.5 mm 下地調整含む
床板張り	2.3	m ²	ラワン合板 t = 12 mm
床シート張り	2.3	m ²	クッションフロアシート t = 2.3 mm
ビニル幅木	4.0	m	h = 100 mm t = 2 mm
内装タイル	5.2	m	h = 200 mm t = 3 mm
軽量鉄骨壁下地	3.1	m ²	65 形@300 直張り用
軽量鉄骨壁下地	2.0	m ²	90 形@300 直張り用
軽量鉄骨壁下地開口部補強	2	か所	65 形 2000×750 mm
軽量鉄骨壁下地開口部補強	1	か所	90 形 1905×700 mm
壁ボード張り	5.1	m ²	ケイ酸カルシウム板 t = 8 mm
四方枠	2	か所	塩化ビニル樹脂製 2000×750 mm
四方枠	1	か所	塩化ビニル樹脂製 1905×700 mm
カランバック	2.6	m ²	C B 下地 モルタル厚 15 mm
トイレブース	7.6	m	ポリエステル化粧合板 t = 40 mm
ステンレス天板	1.6	m	W = 410 mm t = 1.2 mm
汚垂石	1	か所	W = 1600 mm D = 600 mm
脱衣棚	2	か所	400×400×20 mm 木製 (防腐処理)
4 塗装改修			
E P 塗り	5.1	m ²	ケイ酸カルシウム板面 B 種 素地ごしらえ B 種共
複層仕上塗材	11.7	m ²	複層塗材 E アクリルタイル ゆず肌状
5 発生材処理			
(1) 運搬			
発生材積込み	0.7	m ³	コンクリート類
発生材積込み	0.5	m ³	ボード・木材類
発生材運搬	0.7	m ³	コンクリート類
発生材運搬	0.1	m ³	木材類
発生材運搬	0.4	m ³	ボード類

工 種	数 量	単 位	概 要 等
(2) 処分			
発生材処分	1.3	t	がれき類
発生材処分	0.03	t	木くず
発生材処分	0.4	t	廃プラスチック類
発生材処分	0.1	t	ガラス・陶磁器くず
設備機械工事			
1 撤去工事			
(1) 水道用硬質塩化ビニルライン グ鋼管（暗渠内	8.1	m	給水管 20A
(2) 水道用硬質塩化ビニルライン グ鋼管（暗渠内	2.3	m	給水管 32A
(3) 銅管	2.5	m	給湯管 20A
(4) 配管用炭素鋼鋼管（白）	2.7	m	排水管 40A
(5) 配管用炭素鋼鋼管（白）	10.8	m	排水管 50A
(6) 配管用炭素鋼鋼管（白）	3.1	m	排水管 75A
(7) 保温	10.6	m	給水・給湯管 20A
(8) 保温	2.3	m	給水管 32A
(9) 送風機（ストレートシロッコファン）	1	台	天井埋込タイプ φ150
(10) 送風機（ストレートシロッコファン）	1	台	天井埋込タイプ φ200
(11) 大便器	3	組	温水洗浄便座、紙巻器含む
(12) 小便器	2	組	
(13) 洗面器	2	組	
(14) 化粧鏡（耐食鏡）	1	枚	450×600
(15) ユニットシャワー	3	組	
2 配管工事			
(1) ポリブデン管	12.8	m	給水・給湯管 20A（保温付）
(2) 水道用硬質塩化ビニルライン グ鋼管（暗渠内	2.9	m	給水管 25A
(3) 水道用硬質塩化ビニルライン グ鋼管（暗渠内	2.3	m	給水管 32A
(4) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管	2.3	m	排水管 40A
(5) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管	7.7	m	排水管 50A
(6) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管	5.3	m	排水管 75A
3 保温工事			
(1) 給水管保温	2.9	m	グラスウール 25A
(2) 給水管保温	2.3	m	グラスウール 32A

工 種	数 量	単 位	概 要 等
4 空気調和設備工事			
(1) 送風機 (ストレートシロッコファン)	1	台	天井埋込タイプ φ150
(2) 送風機 (ストレートシロッコファン)	1	台	天井埋込タイプ φ200
5 給排水衛生設備工事			
(1) 大便器	4	組	内訳
大便器			TOTO CFS494MCHNS #SC1
温水洗浄便座			TOTO TCF6623 #SC1
紙巻器			TOTO YH51R #SC1
(2) 小便器	2	組	内訳
小便器			TOTO UFH500
自動フラッシュバルブ			TOTO TEA62ADS
(3) 洗面器 (施設ショップ男子トイレ)	1	組	内訳
洗面器 (床給水・床排水)			TOTO L210C #SC1×1
台付自動水栓			TOTO TLE28SD2W×1
化粧棚			TOTO YKH401×1
化粧鏡 (耐食鏡)			TOTO YM4560F×1
(4) 洗面器 (施設ショップ女子トイレ)	1	組	内訳
洗面器 (壁給水・壁排水)			TOTO L210C #SC1×1
台付自動水栓			TOTO TLE28SD2W×1
(5) ユニットシャワー	2	組	TOTO JSV0812ULW5BK
(施設ショップ男女)			セレクト内容
			収納 ESA51 以外基本仕様
(6) ユニットシャワー	1	組	TOTO JSV0812ULW5BK
(警衛所)			セレクト内容
			収納 ESA51
			換気グリル IKK85
			以外基本仕様
6 はつり工事			
機械はつり	1	か所	貫通口径 38mm t150mm
機械はつり	4	か所	貫通口径 50mm t150mm
機械はつり	2	か所	貫通口径 63mm t150mm
機械はつり	1	か所	貫通口径 88mm t150mm
7 発生材処理			
(1) 運搬			
発生材積込み	0.3	m ³	陶器
発生材運搬	0.3	m ³	陶器
(2) 処分			
発生材処分	0.1	t	陶器

1.5 関連文書

本仕様書によるほか、以下による。

- a) 公共建築工事標準仕様書
- b) 公共建築改修工事標準仕様書
- c) 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
- d) 奈良基地作業受注者心得

2 役務に対する要求

2.1 役務内容

2.1.1 概要

奈良基地内ユニットシャワー及び便所（図面番号1～13）の設備、装飾、配管等を撤去し、新たに設備、装飾、配管等の取付けを実施する。

2.1.2 細部事項

2.1.2.1 共通

- a) 作業の実施日は、監督官と調整の上決定する。
- b) 本工事は、施設利用を継続した状態で施工する執務並行改修工事とし、監督官の指示に従うものとする。
- c) 工事の作業時間は、月曜日から金曜日（平日）の0815～1700（昼の休憩時間を1200～1300とする。）までを基準とし、その時間以外で作業を実施する場合は、当日の1500までに残業届により申請し許可を得る。
- d) 当該工事に必要な資格を有する者により作業を実施する。
- e) 工事実施上必要な物品（水、電気を含む。）機材、付属品（取り付け付属品等含む。）仮設物（仮設事務所、仮設トイレ等）の設置及び撤去については、契約相手方負担とする。なお、建物から水、電気等は、有料にて使用できる。使用に際し必要となれば、各メーターの設置、撤去を契約相手方において実施する。
- f) 本仕様書に定めるほか、工事の履行に必要な資機材については、契約相手方の負担において準備する。
- g) 工事に必要な関係官公庁その他に対する諸手続き、工事実施に必要な検査、試験に要する費用については、契約相手方の負担とする。
- h) 工事で使用する材料はJIS規格を標準とするほか、使用前に監督官の検査を受け合格したもののみ使用する。また、規格において、示された規格以外のものを使用する場合、同等品以上とし、監督官の承認を受ける。
- i) 特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
- j) 所要の養生を行うとともに、整理整頓、清掃、後片付けに努めるものとする。
- k) 使用材料等置場は、監督官の指示する場所とする。
- l) 工事写真の撮影方法は下記のとおり。
 - 1) 電子媒体による写真については、有効画素以上、プリンターはフルカラー300dpi以上、インク及び用紙等は、通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じない物とする。但し、経費については、契約相手方負担とする。
 - 2) 工事写真は、契約相手方が保有する記録機器により撮影し、撮影要領は監督官と調整の上、実施する。また、製本後データについては消去する。
- m) 適切な施工体制の確保を図るため、工事施工台帳の作成及び現場に備えるべき標識等の設置を必要に応じ実施する。
- n) 請負者は下記の書類または監督官が指示した書類を指定期日までに提出する。
 - 1) 工事入門許可申請書 ×1部（着工前）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 2) 工事着工届 | × 1 部 (同) |
| 3) 工事工程表 | × 1 部 (同) |
| 4) 現場代理人・主任技術者選任届 (略歴含む) | × 1 部 (同) |
| 5) 資格者証明書 | × 1 部 (同) |
| 6) 受任者・下請負者設定等通知書 | × 1 部 (同) |
| 7) 火気使用申請 | × 1 部 (同) |
| 8) 発生材調書 | × 1 部 (都度) |
| 9) 工事完成通知及び工事完成検査願書 | × 1 部 (工事終了後, 直ちに) |
| 10) 主要資材報告書 | × 1 部 (工事期間中) |
| 11) 資材試験表 | × 1 部 (同) |
| 12) 試験成績表 | × 1 部 (同) |
| 13) 作業労務日誌 | × 1 部 (都度) |
| 14) 現場持ち込み材料日誌 | × 1 部 (同) |
| 15) 工事写真 | × 1 部 (工事完成検査前) |
| 16) 工事等保証書 | × 1 部 (同) |
| 17) 工事打合せ簿・協議書 | × 1 部 (必要に応じて) |
| 18) 施工体制台帳 | × 1 部 (同) |
| 19) 現場閉所実績報告書 | × 各月 1 部 (翌月 10 日までに) |
- o) 本工事に係る事故等については, 請負者の負担において処置する。
2. 1. 2. 2 建築工事
- a) 撤去工事
- 1) 既存部分に損傷を与えないように撤去を実施する。
 - 2) アルミニウム製建具及び鋼製建具撤去は外周枠を残すものとする。
 - 3) 壁ケイ酸カルシウム板撤去は、軽量鉄骨壁下地を含め撤去とする。
- b) 建具改修工事
- 1) アルミニウム製建具、鋼製建具及び鋼製軽量建具の改修工法はかぶせ工法とする。
 - 2) アルミニウム製建具の性能等級は、A種とする。
 - 3) ガラス留めシーリングは、SR-1 シリコン系とする。
- c) 内装改修工事
- 1) 床板張りはラワン合板とし、厚さ 1.2 mm とする。
 - 2) 施設ショップの軽量鉄骨壁下地は 6 5 形とする。
 - 3) 警衛所の軽量鉄骨壁下地は 9 0 形とする。
 - 4) ビニル床シート張りは複層ビニル床シートとし、厚さ 2.5 mm とする。
 - 5) 医務室の床シートはクッションフロアシートとし、厚さ 2.3 mm とする。
 - 6) ビニル幅木は塩化ビニル製とし、高さ 100 mm、厚さ 2.0 mm とする。
 - 7) 内装タイルは磁器質タイルとし、高さ 200 mm、厚さ 3.0 mm とする。施工前に見本を提出し監督官の承認を得るものとする。
 - 7) 壁ボード張りはケイ酸カルシウム板とし、厚さ 8.0 mm とする。
 - 8) 四方枠は塩化ビニル樹脂製とする。
 - 9) トイレブースはポリエステル化粧合板とし厚さ 40 mm とする。
 - 10) ステンレス天板の厚さは 1.2 mm とする。
 - 11) 汚垂石は磁器質タイルとし、厚さ 6.0 mm 程度とする。施工前に見本を提出し監督官の承認を受けるものとする。
 - 12) 脱衣棚は木製とし、防腐処理を行うものとする。
- d) 塗装改修工事
- 1) 鉄鋼面の素地ごしらは C 種とする。

- 2) ケイ酸カルシウム板面の素地ごしらはB種とする。
- 3) 鉄鋼面の錆止め塗料塗りA種とする。
- 4) 鉄鋼面の合成樹脂調合ペイント塗りはB種とする。
- 5) ケイ酸カルシウム板面の合成樹脂エマルジョンペイント塗りはB種とする。
- 6) 複層仕上塗材は複層塗材E（アクリルタイル）ゆず肌状とする。

2.1.2.4 機械設備工事

a) 撤去工事

- 1) 図面で示した部分の給水管、給湯管及び排水管を撤去する。
- 2) 図面で示した部分の給水管、給湯管の保温を撤去する。
- 3) 送風機は本体のみの撤去とし、2台を撤去する。（施設ショップ2組）
- 4) 大便器3組を撤去する。（施設ショップ2組、警衛所1組）
- 5) 小便器2組を撤去する。（施設ショップ2組）
- 6) 洗面器2組を撤去する。（施設ショップ2組男子トイレは化粧鏡（耐食鏡）を含む。）
- 7) ユニットシャワー3組を撤去する。（施設ショップ2組、警衛所1組）

b) 配管工事

- 1) 本工事で使用する給水管及び給湯管は水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管及びポリブデン管（保温付）を使用し施工する。
- 2) 給水管及び給湯管の施工に先立ち、器具の位置を正確に決定し施工する。
- 3) 既設管と新設管の接続は、図面で示した部分で接続する。
- 4) 既設給水管及び給湯管とポリブデン管（保温付）の接続は、適切な接続方法を選択し施工する。

c) 保温工事

配管工事で施工した水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管にグラスウール保温材を使用して施工する。

d) 排水管

- 1) 本工事に使用する排水管は、リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（R F - V P）とする。
- 2) 配管の施工に先立ち、器具及び既設管との位置を正確に決定し勾配を十分に考慮して施工する。
- 3) 既設排水管と新設排水管の接続は、適切な接続方法を選択し施工する。

e) 空気調和設備

- 1) ユニットシャワーの換気グリルを既設ダクトに接続する。
- 2) ストレートシロッコファンは、本体のみを更新し既設ダクト及び既設ドレン管に接続する。
- 3) 本体を水平にし、吊り金具を用いて吊りボルトに取付け、緩みがないようにワッシャー、ナットで確実に固定する。
- 4) その他取付方法は、メーカー標準仕様とする。

f) 給排水衛生設備

- 1) ユニットシャワーの施工方法はメーカー標準仕様とする。
- 2) ユニットシャワー内に設置するセレクト品等については、図面で示した部品を使用する。
- 3) 洗面器、化粧棚及び鏡の施工方法はメーカー標準仕様とする。

g) はつり工事

- 1) 床貫通部穿孔は、ダイヤモンドコアドリル等を使用した機械はつりにより施工する。

- 2) 穿孔完了後貫通穴の確認を実施し必要によりウェス等による養生を確実に実施する。

2.2 発生材処分

- a) 監督官が指示する発生材（鉄、アルミ、ステンレス等）は、基地内所定の場所に集積し、発生材調書を作成のうえ監督官に引き渡す。
- b) 上記以外の発生材は、産業廃棄物処分法に基づき、産業廃棄物処分場で適正に処分し、廃棄物管理票（マニフェストD票）の写しを監督官に提出する。なお、廃棄物処分に関する費用は、契約相手方の負担とする。

3 監督・検査

- a) 本仕様書に基づき、契約相手方は監督官の支持、立会いのもと本工事を実施する。
- b) 契約相手方は本工事終了後直ちに工事完成通知及び工事完成検査願書を監督官に提出し、検査官立会いのもと工事内容について検査を受け、検査合格をもって工事完了とする。

4 一般事項

- a) 本工事に関し、施設及び機材等に損傷を与えた場合は、監督官に報告するとともに監督官を通じて契約担当官と協議の上、契約相手方の責任において、原状回復する。
- b) 基地内では、法令及び防衛省で定めた規則を遵守し、行動しなければならない。以下に代表的な遵守事項を示すほか、細部は監督官の指示に従う。
 - 1) 基地及び建物への立入に関し、規則に基づく所要の手続きを実施して基地司令の許可を受けるものとする。
 - 2) 本工事に必要な場所以外への立入は行わない。
 - 3) 基地内で知り得た情報について、第三者に漏らしてはならない。
 - 4) 基地内における写真撮影は、本工事に必要な場合を除き禁止する。
- c) 本仕様書に明記なき事項については、監督官を通じて契約担当官と協議して決定する。

5 完全週休2日制工事（土日）特記仕様書

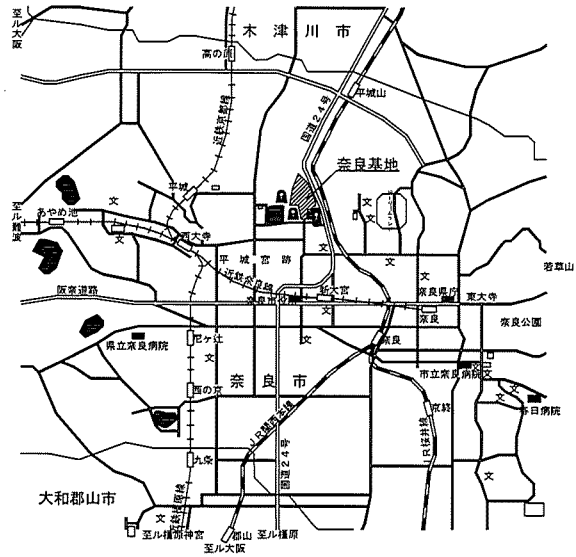
- a) 本工事は、完全週休2日制（土日）の試行対象工事である。
- b) 週休2日の考え方
 - 1) 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行なったと認められる状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っていれば、達成しているとみなす。また、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月で現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

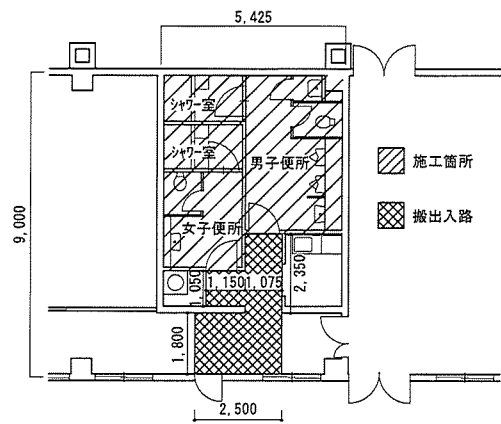
通期の週休2日とは、対象期間において、28.5%（8日／28日）以上の現場閉所（現場休息）を行なったと認められることをいう。

なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

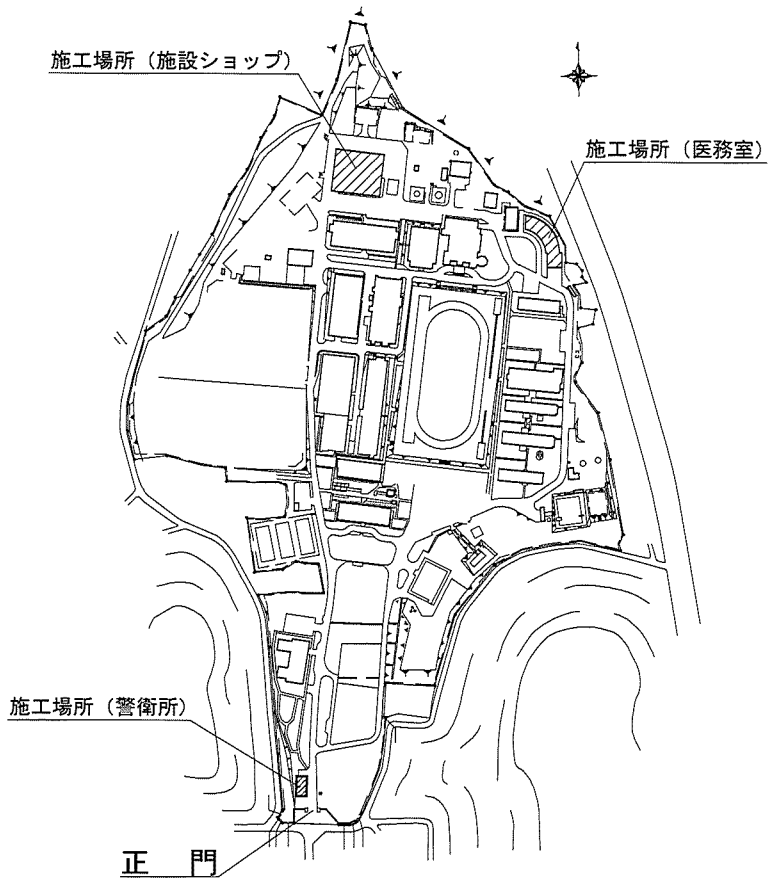
- 2) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場制作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- 3) 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。
- c) 現場閉所実績報告書
受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。
- d) 総合工事工程用表の作成
受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。
総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、夏期の条件を適切に考慮する。
 - 1) 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
 - 2) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
 - 3) 施工終了後の自主点検、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
 - 4) 降雪、出水期、猛暑日等の作業不能日数
- e) 工事工程の共有
 - 1) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
 - 2) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
 - 3) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
 - 4) 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。
- f) 現場閉所の達成状況及び精査
対象期間における全ての週において完全週休2日（土日）が達成できていない又は月単位の週休2日が達成できていない場合は、補正した労務費（公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工）、現場管理費及び市場単価等を請負代金額の変更により減額するものとする。



周辺案内図



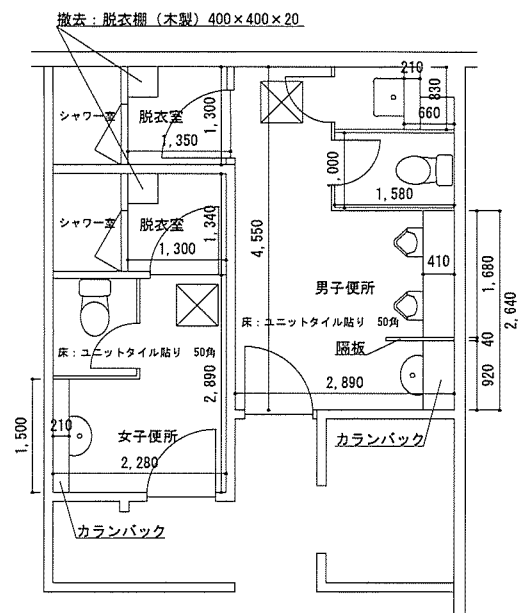
施設ショップ施工箇所平面図



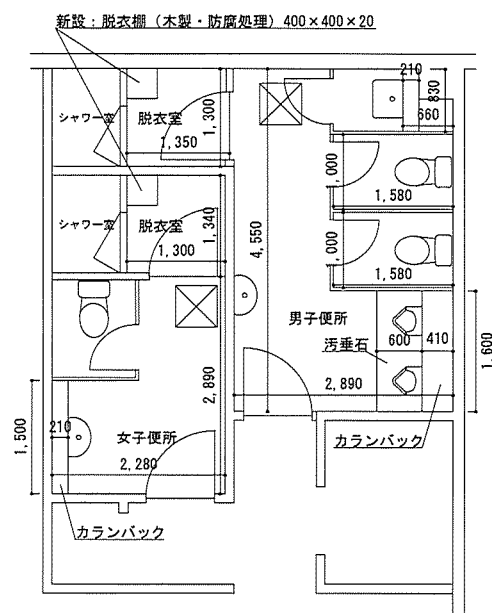
奈良基地案内図

工事関係者以外複製不可

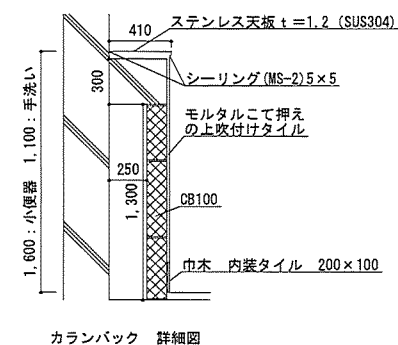
工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	1/13
図面名称	案内図・周辺図・平面図	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



改 修 前

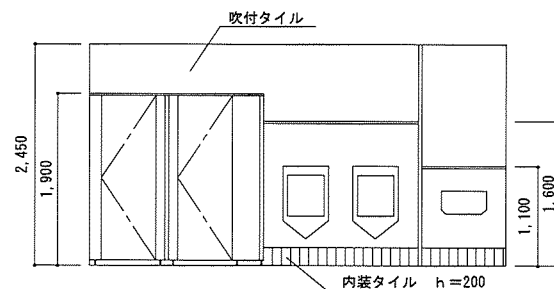
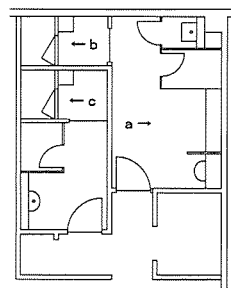


改修後

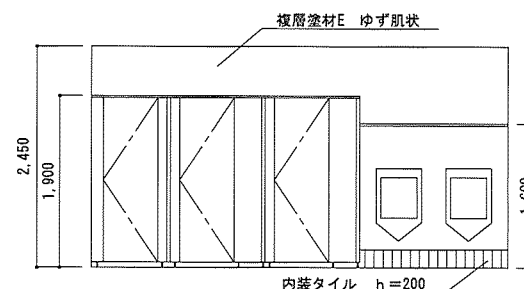


改修箇所	改 修 内 容
カランバック	撤去・新設（男子便所）CB下地モルタル厚15mmの上複層塗材E ゆず肌状 下地調整含む
ステンレス天板	撤去・新設（男子便所） t =1.2mm
トイレブース	撤去・新設（男子便所）ポリエステル化粧合板、ステンレス笠木、 t =40mm
隔板	撤去（男子便所）ポリエステル化粧合板
汚垂石	新設（男子便所）磁器質タイル
ビニル床シート	撤去（脱衣室）・新設（便所（ユニットタイル50角の上）、脱衣室）下地調整含む t =2.5mm
脱衣棚	撤去・新設（脱衣室）木製（防腐処理）

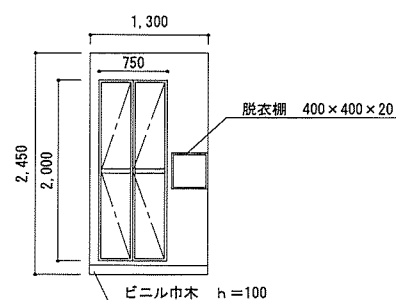
工事関係者以外複製不可			
工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	2/13
図面名称	平面図（施設ショップ）	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



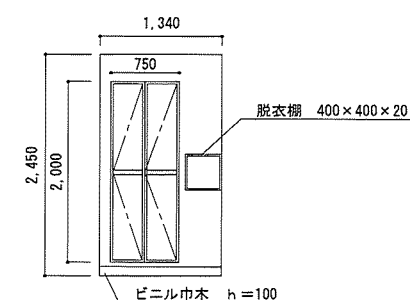
a面 展開図 改修前



a面 展開図 改修後



b面 展開図



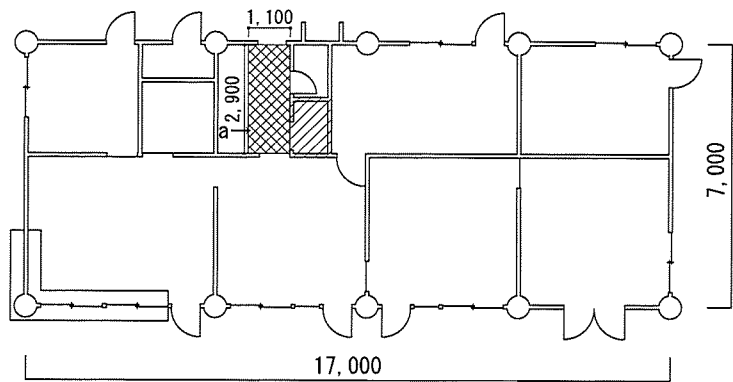
c面 展開図

改修箇所	改修内容
男子便所	内装タイル h=200mm 撤去・新設 複層塗材E ゆず肌状 下地調整含む
脱衣室	ケイ酸カルシウム板 t=8mm 撤去・新設 軽量鉄骨壁下地 65形 撤去・新設 軽量鉄骨壁下地開口部補強 65形 撤去・新設 四方枠 木製 撤去・塩化ビニル樹脂製 新設 EP塗り 素地ごしらえB種共 ケイ酸カルシウム板面 脱衣棚 木製(防腐処理) 撤去・新設 ビニル巾木 h=100mm 撤去・新設

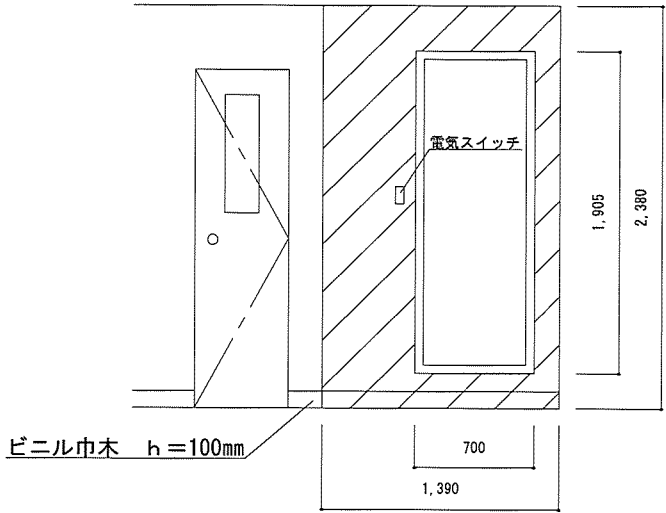
工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	3/13
図面名称	展開図(施設ショップ便所・脱衣室)	縮尺	S=NTS
幹部候補生学校業務部管理課施設班			

別図第 4



平面図



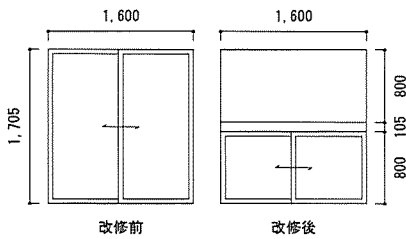
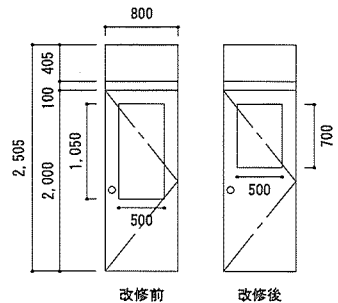
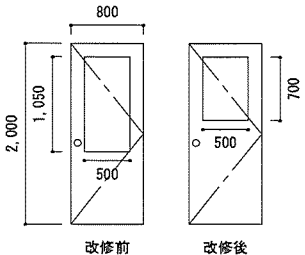
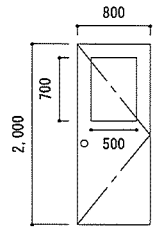
a面 展開図

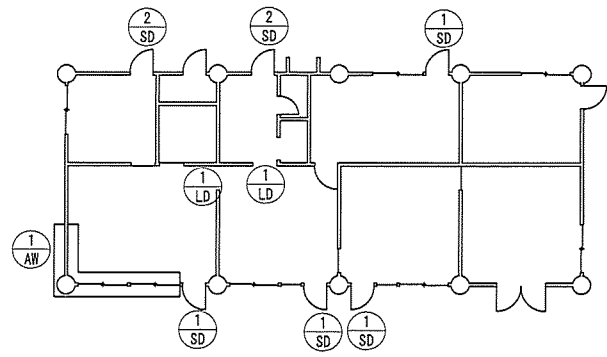
改修箇所	改 修 内 容
シャワー室	四方枠 撤去・新設 塩化ビニル樹脂製 700×1905 ケイ酸カルシウム板 t=8mm 撤去・新設、複層塗材E ゆず肌状 軽量鉄骨壁下地 90形 撤去・新設、ビニル巾木 h=100mm 撤去・新設
搬出入路	

工事関係者以外複製不可

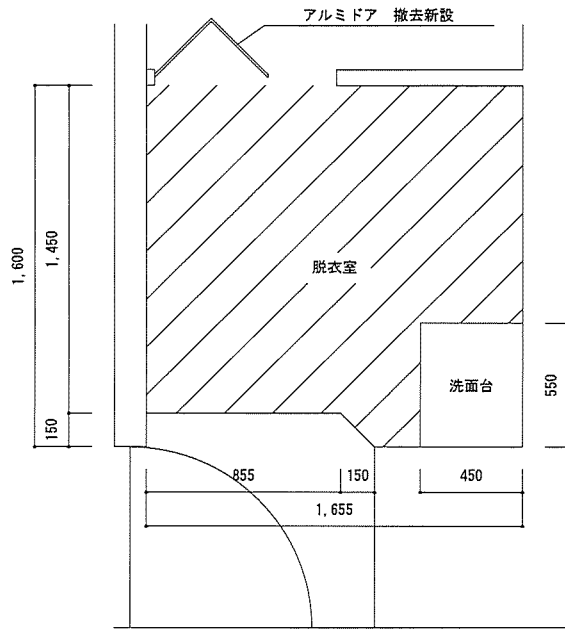
工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	4/13
図面名称	平面図・展開図（警衛所）	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			

別図第 5

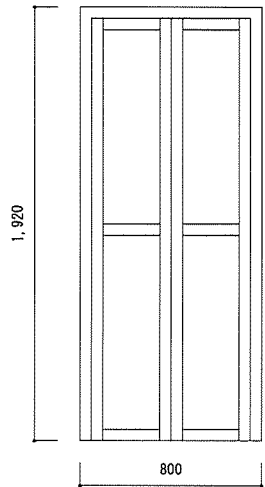
符号・名称	1 AW アルミ製引き違い窓	1 SD ランマ付き鋼製片開き戸	2 SD 鋼製片開き戸	1 LD 鋼製軽量片開き戸
形状・寸法	 改修前改修後	 改修前改修後	 改修前改修後	 新 設
数量 見込	170	4140	2100	2180
材質・仕上	アルミ	スチール製 SOP	スチール製 SOP	スチール製 SOP
ガラス	フロート板ガラス 3mm	型板ガラス 4mm	型板ガラス 4mm	型板ガラス 4mm
建物金具 その他	クレセント その他付属金物一式 枠残し カバー工法	ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当り 本締モノロック錠り、枠残し カバー工法	ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当り 本締モノロック錠り、枠残し カバー工法	ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当り 本締モノロック錠り、枠有り カバー工法



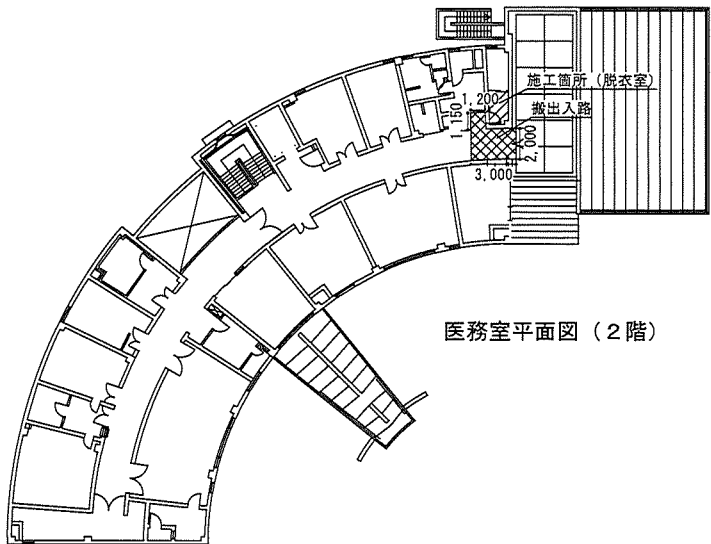
工事関係者以外複製不可			
工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	5/13
図面名称	建具表（警衛所）	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



脱衣室 平面図



アルミ戸 姿図

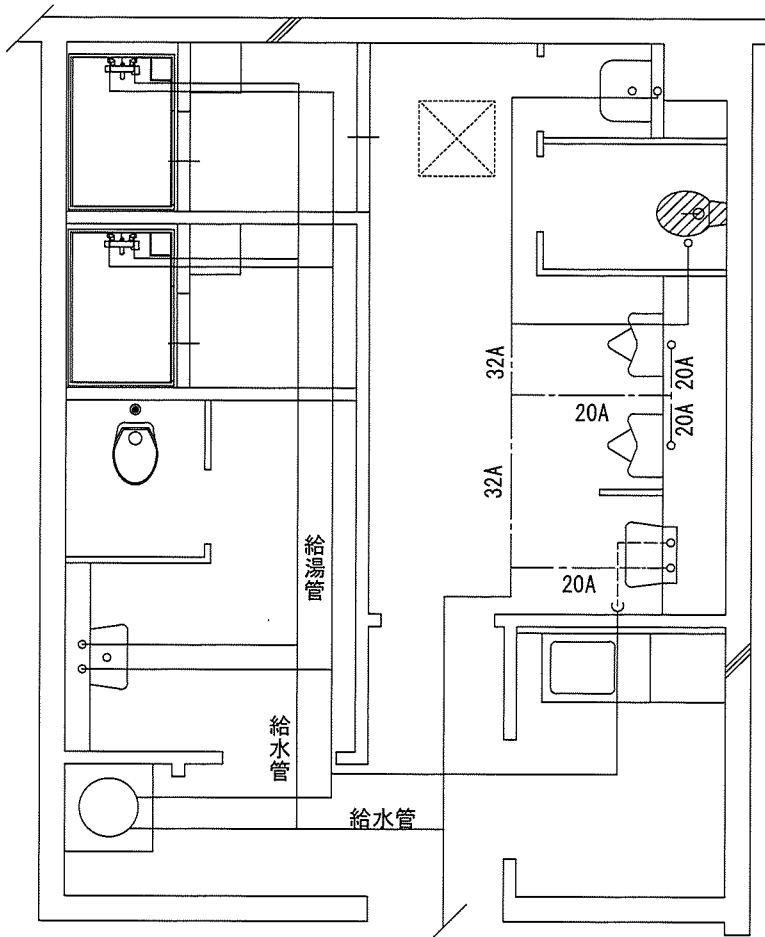


医務室平面図 (2 階)

改修箇所		改 修 内 容
	脱衣室	化粧積層フローリング t=15mm 撤去
		ラワン合板1類 t=12mmの上CFシート t=2.3mm 新設
		アルミドア 撤去・新設
	搬出入路	

工事関係者以外複製不可

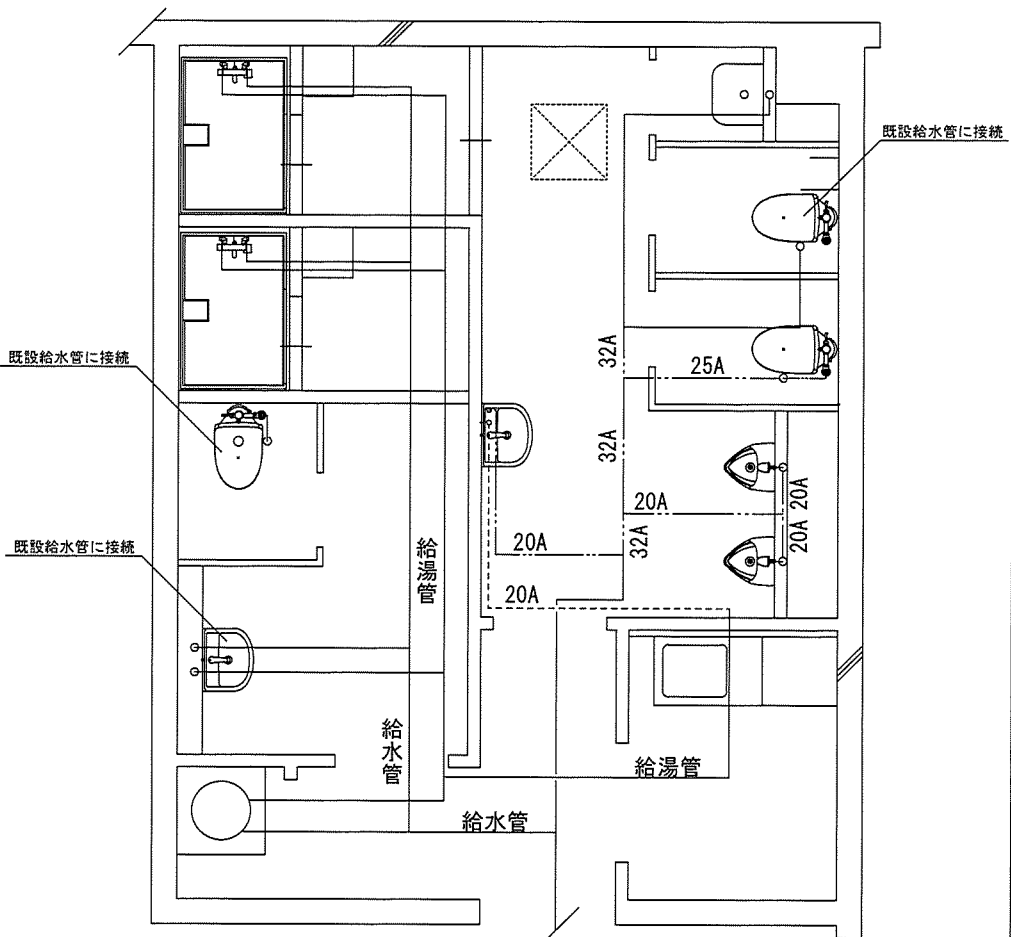
工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	6/13
図面名称	平面図 (医務室)	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



既設給水・給湯管平面図

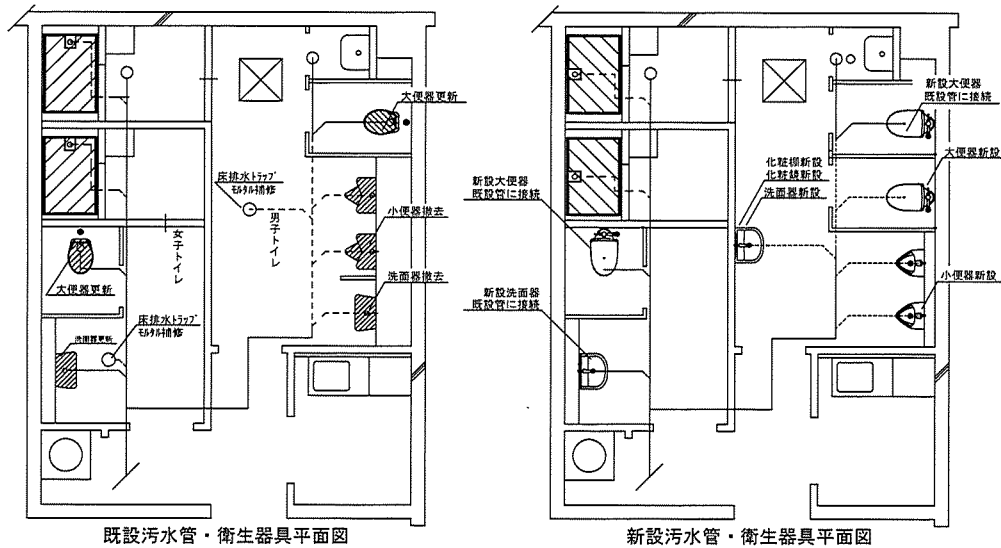
撤去凡例		
図示	内 容	備 考
——	給水管	詳細は、 既設給水・給湯管系統図参照
----	給湯管	

新設凡例		
図示	内 容	備 考
——	給水管	詳細は、 新設給水・給湯管系統図参照
----	給湯管	

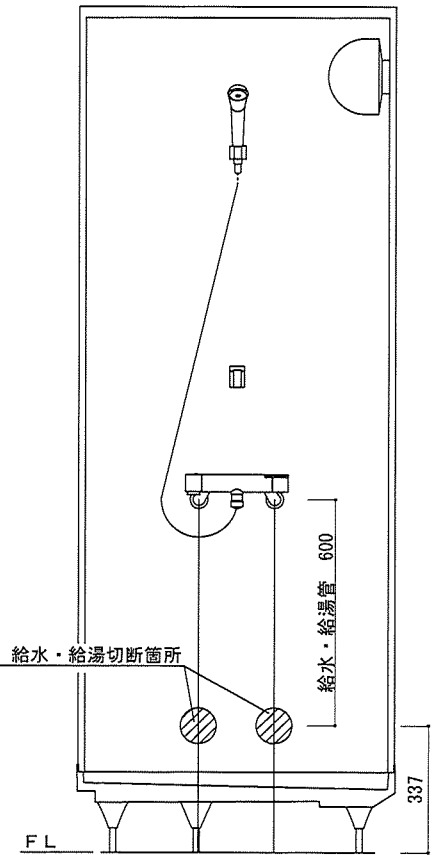


新設給水・給湯管平面図

工事関係者以外複製不可			
工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	7/13
図面名称	給水・給湯管平面図	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



ユニットシャワー 1組 仕様	
メーカー・型番（参考型番） TOTO 0812L JSV0812ULW5BK	
セレクト内容	セレクト記号等
壁柄	基本仕様
床	基本仕様
収納	ESA51
水洗金具	基本仕様
シャワー	基本仕様
ドア	基本仕様
照明	基本仕様
換気グリル	基本仕様
タオル掛け	基本仕様



撤去凡例		
図示	内 容	数量
	大便器	2組
	小便器	2組
	洗面器	2組
	ユニットシャワー	2組
----	排水管	—
※排水管の詳細は、 既存排水管路系統図参照		

新設凡例		
図示	内 容	数量
	大便器	3組
	小便器	2組
	洗面器	2組
	ユニットシャワー	2組
-----	排水管	—
※排水管の詳細は、 新設排水管路系統図参照		

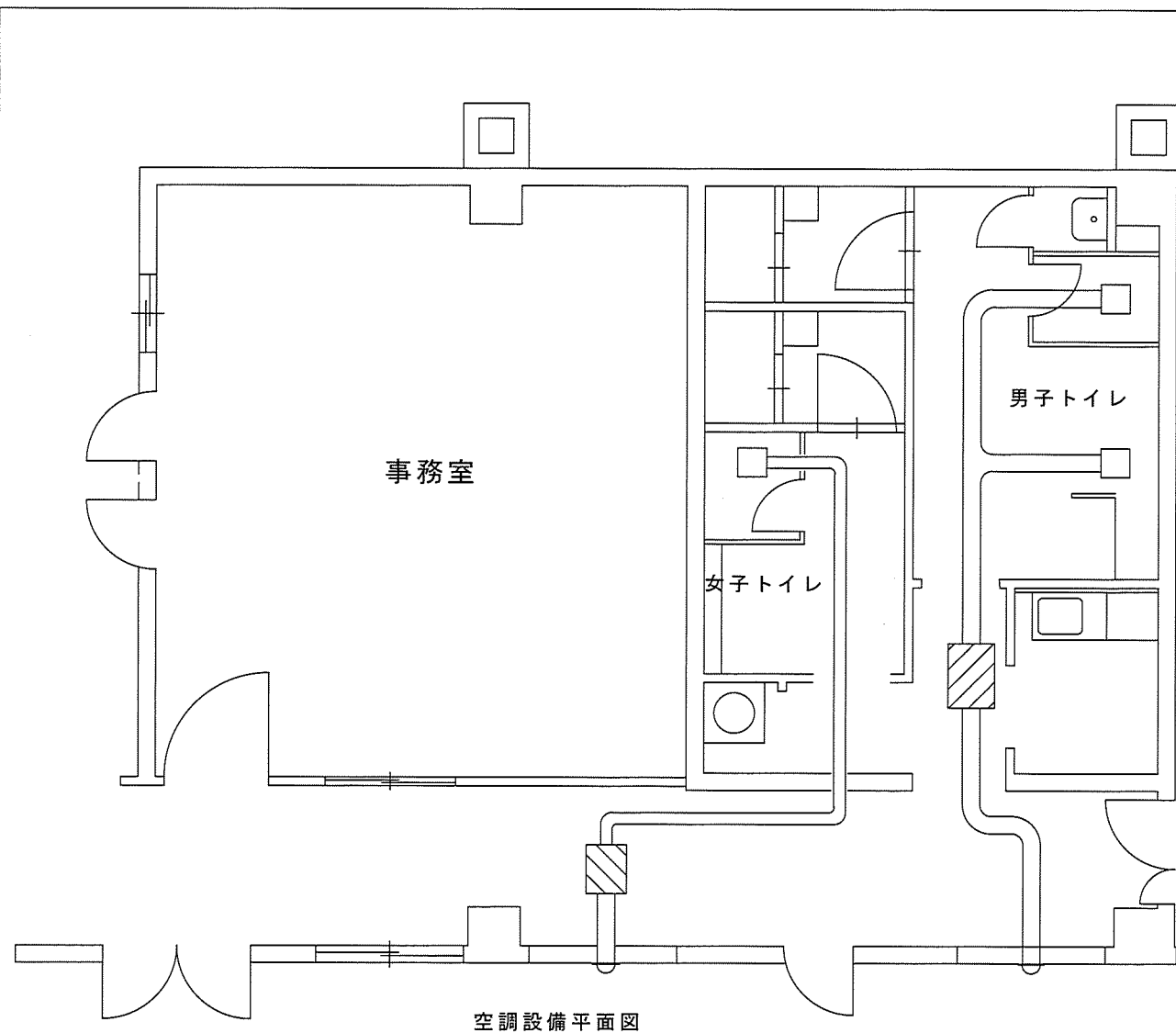
男女トイレ 新設大便器取付一覧	
内 容	新設参考型番
大便器	TOTO CFS494MCHNS #SC1
ウォシュレット	TOTO TCF6623 #SC1
紙巻器	TOTO YH51R #SC1

男子トイレ 新設洗面器取付一覧	
内 容	新設参考型番
洗面器 (床給水・床排水)	TOTO L210C #SC1
台付自動水栓	TOTO TLE28SD2W
化粧棚	TOTO YKH401
化粧鏡 (耐食鏡)	TOTO YH51R #SC1

女子トイレ 新設洗面器取付一覧	
内 容	新設参考型番
洗面器 (壁給水・壁排水)	TOTO L210C #SC1
台付自動水栓	TOTO TLE28SD2W

工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	8/13
図面名称	施設ショップ衛生器具等平面図等	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



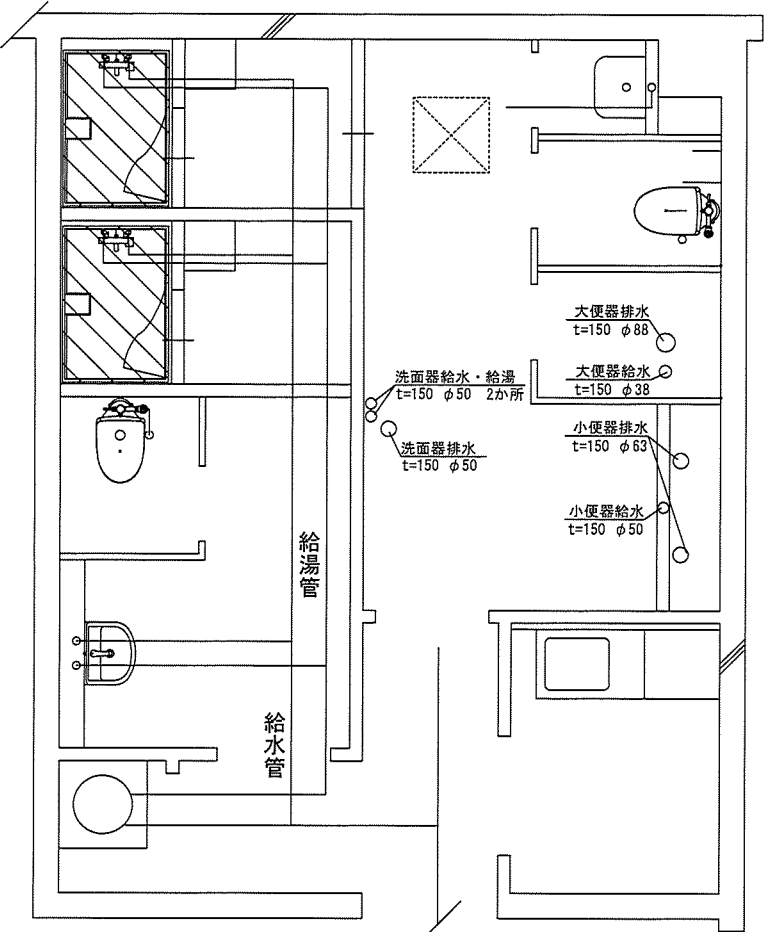
送風機更新凡例

図 示	既 設 型 番	新 設 参 考 型 番
	三菱 BFS-50SUA	三菱 BFS-50SUG2
	三菱 BFS-40SUA	三菱 BFS-40SUG2

※ 新設送風機は既設ダクトに接続

工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	9/13
図面名称	施設ショップ空調設備平面図	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			

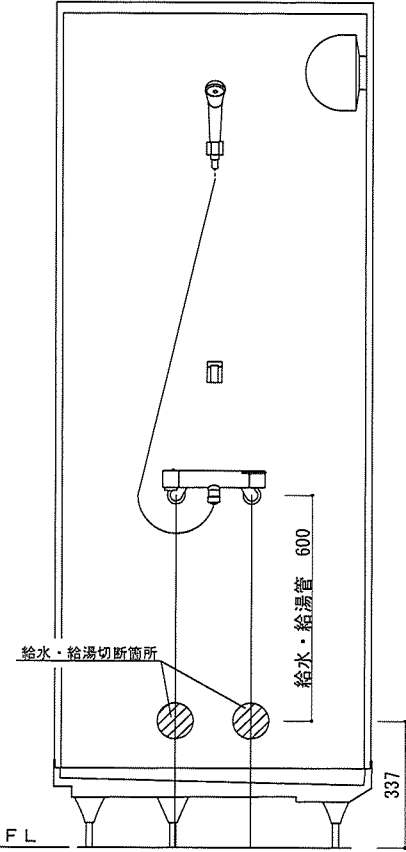


機械はつり平面図

床貫通凡例

内 容	口 径	数 量
大便器 給水	3 8 mm	1 か所
大便器 排水	8 8 mm	1 か所
小便器 給水	5 0 mm	1 か所
小便器 排水	6 3 mm	2 か所
洗面器 給水・給湯	5 0 mm	2 か所
洗面器 排水	5 0 mm	1 か所

ユニットシャワー 1組 仕様	
メーカー・型番（参考型番） TOTO 0812L JSV0812ULW5BK	
セレクト内容	セレクト記号等
壁柄	基本仕様
床	基本仕様
収納	ESA51
水洗金具	基本仕様
シャワー	基本仕様
ドア	基本仕様
照明	基本仕様
換気グリル	基本仕様
タオル掛け	基本仕様



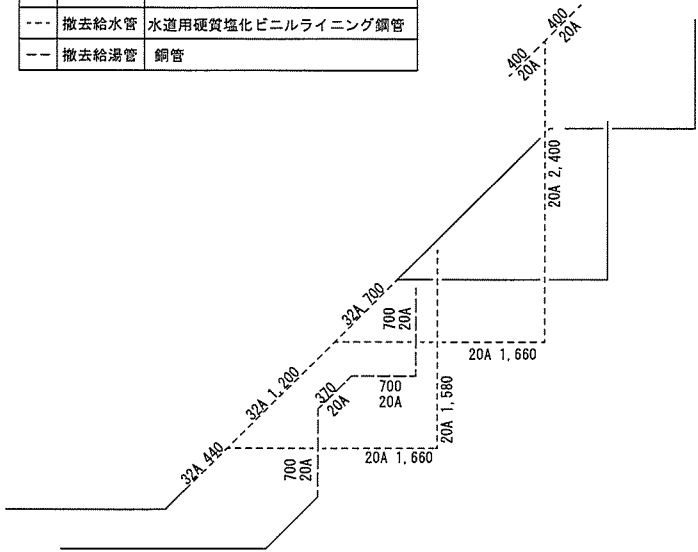
ユニットシャワー詳細図

工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	10/13
図面名称	施設ショップユニットシャワー詳細図等	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			

撤去凡例

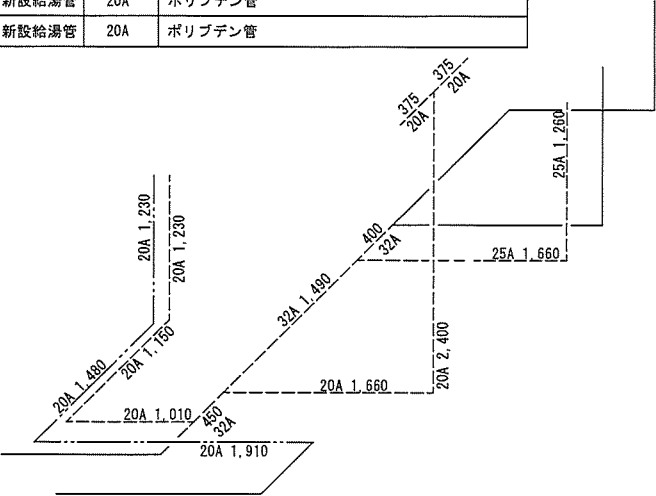
図示	内 容	管 種
---	撤去給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
---	撤去給湯管	銅管



既設給水管・給湯管系統図

新設凡例

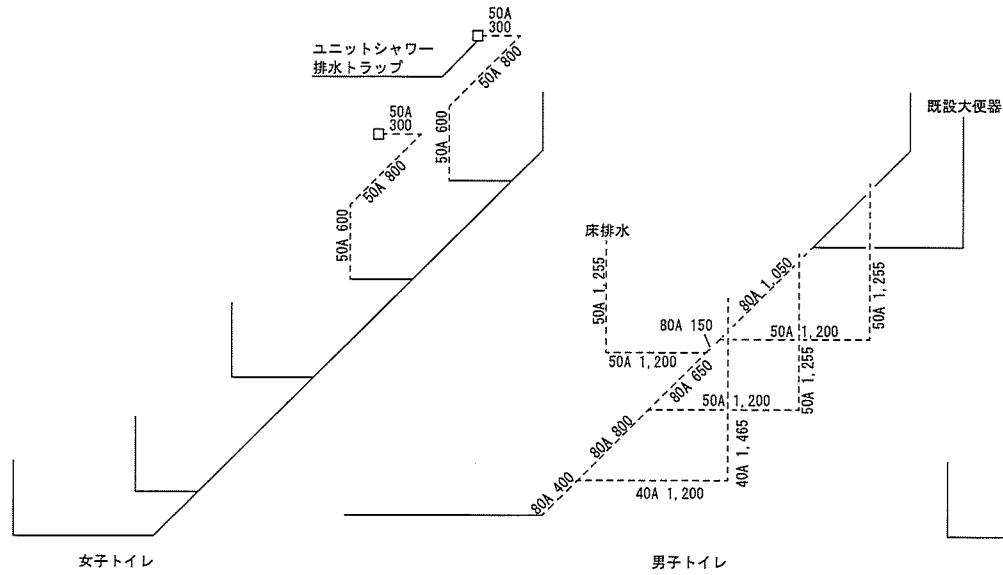
図示	内 容	管 径	管 種
---	新設給水管	25A、32A	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（保温含む）
---	新設給湯管	20A	ポリブデン管
---	新設給湯管	20A	ポリブデン管



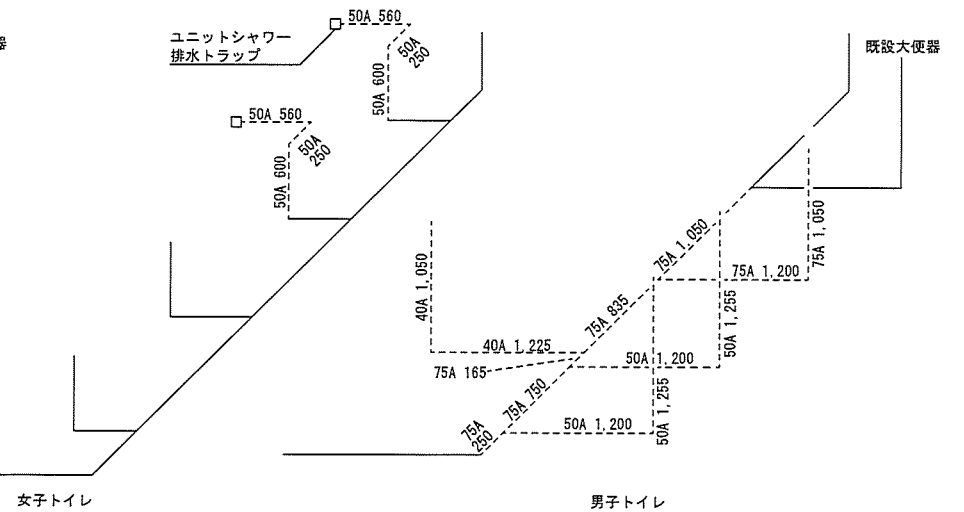
新設給水管・給湯管系統図

工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	11/13
図面名称	施設ショップ給水・給湯管系統図	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



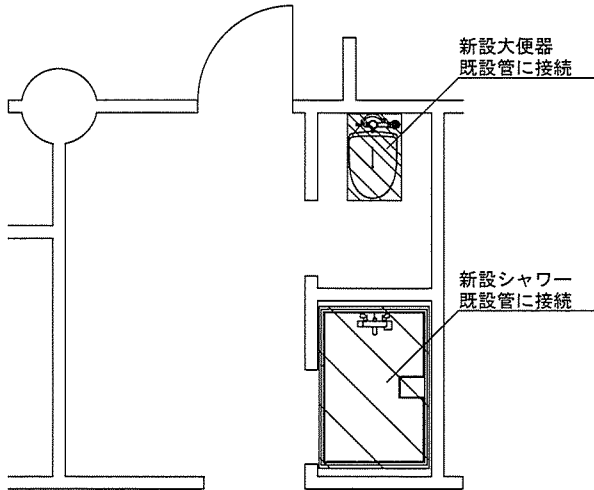
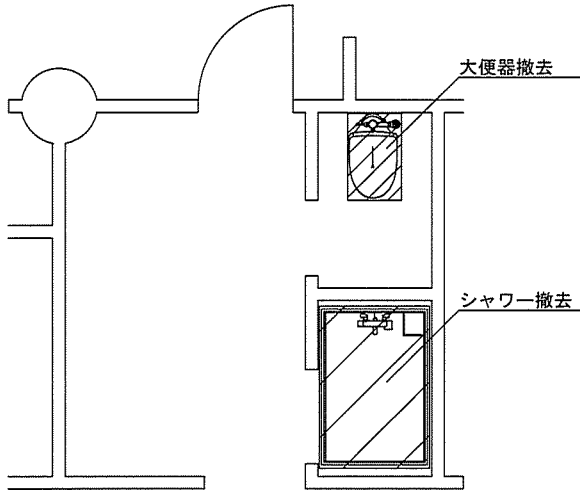
既設排水管系統図



新設排水管系統図

工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	12/13
図面名称	施設ショップ排水管系統図	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			



更新凡例

図示	既設型番	図示	新設参考型番
	TOTO C21		TOTO CFS494MCHNS #SC1
	TOTO JSC0812S		TOTO JSV0812ULW5BK

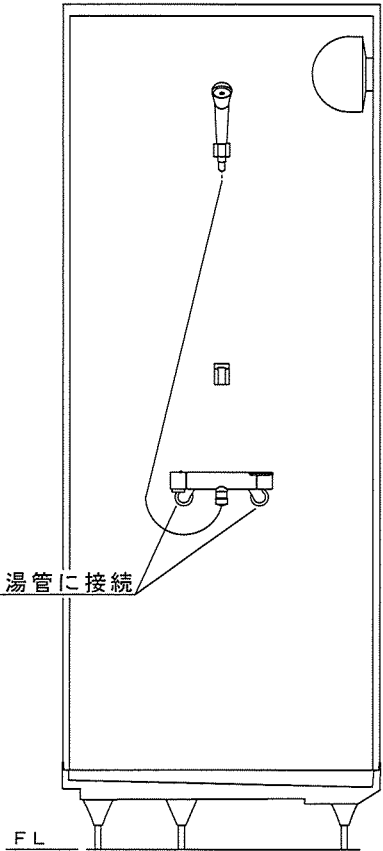
新設大便器取付一覧

内 容	新設参考型番
大便器 (壁給水・床排水)	TOTO CFS494MCHNS #SC1
ウォシュレット	TOTO TCF6623 #SC1
紙巻器	TOTO YH51R #SC1

新設ユニットシャワー取付一覧

ユニットシャワー 1組 仕様	
メーカー・型番 (参考型番) TOTO 0812L JSV0812ULW5BK	
セレクト内容	セレクト記号等
壁柄	基本仕様
床	基本仕様
収納	ESA51
水洗金具	基本仕様
シャワー	基本仕様
ドア	基本仕様
照明	基本仕様
換気グリル	IKK85
タオル掛け	基本仕様

既設給水・給湯管に接続



工事関係者以外複製不可

工事件名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	図面番号	13/13
図面名称	警衛所衛生器具平面図	縮 尺	S=NTS
幹 部 候 補 生 学 校 業 務 部 管 理 課 施 設 班			

入 札 書

工 事 名（業務の名称）：基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事

入 札 金 額：¥

電子くじ番号：

上記の金額をもって入札心得書及び現場説明書の条項を承諾の上、入札します。

令和8 年 11 月 20 日

契約担当官

航空自衛隊幹部候補生学校

会計課長 稲吉 博和 殿

住 所

会社名

代表者名

代表者電話番号

代理人氏名

代理人電話番号

令和8年 月 日

委 任 状

当社は、 を代理人と定め、下記工事（業務）の入札・見積に関する
一切の権限を委任します。

工 事 名（業務の名称）： 基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事

契約担当官

航空自衛隊幹部候補生学校

会計課長 稲吉 博和 殿

住 所

会社名

代表者名

代表者電話番号

入 札 辞 退 届

工 事 名：基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事

上記工事について、都合により入札を辞退します。

令和 年 月 日

契約担当官

航空自衛隊幹部候補生学校

会計課長 稲吉 博和 殿

住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

契約担当官
航空自衛隊幹部候補生学校
会計課長 稲吉 博和 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名

工事費内訳明細書

工事名	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事
工種等	金額（円）
直接工事費	
共通仮設費	
現場管理費 （法定福利費等）	（ ）
産業廃棄物処理費	
一般管理費等	
工事価格（合計）	（税抜）

- ※ 1 直接工事費の細部内訳明細書を作成し、本様式を表紙としてご提出ください。
- 2 初回の入札金額に対応した価格をご記入下さい。
- 3 現場管理費金額を記入し、現場管理費の中に含まれる法定福利費等を（ ）の中に金額を記入して下さい。
- 4 提出する際は入札書とは別の封筒へ入れ、「社名」と「入札書」または「内訳書」の記入をしてご提出下さい。
- 5 郵便の場合は「入札書の封筒」「内訳書の封筒」の2つを、別の1つの封筒へ入れて郵送してください。
- 6 細部内訳明細書は任意様式（記載内容は工事費内訳書記載例参照）
但し入札に際し、細部内訳明細書の記載内容に関して以下（1）～（3）の記載を求める。
- （1）材料費（直接工事費の内訳に記載）
- （2）労務費（直接工事費の内訳に記載）
- （3）当該公共工事に従事する労働者による適正な施工を確保するために不可欠な経費として国土交通省令で定める。
- 下記ア～ウについて
- ア 法定福利費（現場管理費又は工事原価の内訳に記載）
- イ 安全衛生経費（現場管理費又は工事原価の内訳に記載）
- ウ 建設業退職金共済契約に係る掛金（現場管理費の内訳に記載）
- ＊ア+イ+ウ＝法定福利費等
- 7 提出期限については公告をご確認下さい。

一 般 競 争 参 加 資 格 確 認 申 請 書

令和 年 月 日

契約担当官

航空自衛隊幹部候補生学校

会計課長 稲吉 博和 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

令和8年10月6日付けで入札公告のありました「基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事」に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者でないこと及び添付書類の内容について事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札説明書(建設工事基準)7(3)イに定める同種の工事の施工実績を記載した書面(同種の工事の施工実績)、配置予定の技術者の資格を記載した書面(配置予定の技術者)及び誓約書
- 2 競争参加資格に関わる事項を申告した書面(競争参加資格申告書)
- 3 防衛省競争参加資格の資格審査結果通知書(写)

以 上

注：返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた所定の料金の切手を貼った長3号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

競争参加資格申告書

契約担当官
航空自衛隊幹部候補生学校
会計課長 稲吉 博和 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名

私は下記工事の入札に参加するため、競争参加資格に関わる次の事項を申告します。

記

1 工 事 名：基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事

2 申告事項（該当箇所に○）

（1）予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定の該当の有無

有 ・ 無

（2）会社更生法に基づき更正手続開始の申立て、または、民事再生法に基づく再生手続開始の申立ての有無

有 ・ 無

（3）入札に参加しようとする者の間の資本または人的関係の有無

有 ・ 無

（4）防衛省としての指名停止等の措置を受けている期間中の有無

有 ・ 無

（5）都道府県警察から暴力団関係業者として、防衛省が発注する工事等から排除されている状態の有無

有 ・ 無

（6）「情報保全に係る履行体制について懸念が存在する者又は業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者の有無

有 ・ 無

（7）開札日における立ち会いの有無

有 ・ 無

同種の工事の施工実績

(基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事【建築一式】 【管】)

会社名

工 事 名 称 等	工 事 名	
	発 注 機 関 名	
	工 事 場 所	
	契 約 金 額	
	工 期	年 月～ 年 月
	受 注 形 態 等	単体／J V (出資比率)
工 事 概 要	構 造 形 式	
	規 模 ・ 寸 法	
	使用機材・数量	
	施 工 条 件	
	そ の 他	
CORINS登録の有無		有 (CORINS登録番号) 無

- 注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記入すること。
- 2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINSの登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付する。
- 3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書の写しを添付すること。ただし、成績評定が行われなかった場合は、添付は要しない。

配 置 予 定 の 技 術 者

(基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事【建築一式】 【管】)

会社名

項	目	主任技術者又は監理技術者
氏	名	
最	終 学 歴	
法 令 に よ る	資 格 ・ 免 許	
工事概要	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 事 場 所	
	契 約 金 額	
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	
	工 事 内 容	
	CORINS 登 録 の 有 無	有 (CORINS登録番号) 無
申請時に おける他 工事の従 事状況等	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	
	本工事と重複する 場 合 の 対 応 措 置	
	CORINS 登 録 の 有 無	有 (CORINS登録番号) 無

- 注： 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。
- 2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、一般財団法人日本建設情報総合センターが発行する「登録内容確認書（工事实績）・当該工事の登録履歴・工事实績データ（明細）」の写しを添付すること。「無」に○を付した場合は、同種工事の契約書の写しを添付すること。
- 3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。ただし、成績評定が行われなかった場合は、添付は要しない。

誓 約 書

契約担当官
航空自衛隊幹部候補生学校
会計課長 稲吉 博和 殿

住所
商号又は名称
代表者氏名
電 話 番 号

弊社は、過去5年間に防衛省発注の工事（業務）を完成（完了）・引渡ししておりますが、その際、契約条項に則り守秘義務に努めておりました。今回、本工事（業務）を受注する際には、過年度の契約と同様に、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあつては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊幹部候補生学校

会計課長 稲吉 博和 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、本工事（業務）を受注する際には、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

市場価格調査(参考見積)書

令和 8年 月 日

契約担当官
航空自衛隊幹部候補生学校
会計課長 稲吉 博和 殿

住 所
会 社 名
代表者名

工期		契約締結日～令和9年3月31日	工事場所		航空自衛隊奈良基地		
No.	品 名（件名）	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	基地建物内ユニットシャワー及び便所改修その他工事	仕様書のとおり	式	1			I + II の合計
	【内訳】						
	I 直接工事費	仕様書のとおり	式	1			①+②の計
	【直接工事費内訳】						
	①直接工事費（産業廃棄物処分費除く）	仕様書のとおり	式	1			建築及び管工事合算分
	②産業廃棄物処分費	仕様書のとおり	式	1			建築及び管工事合算分
	【諸経費】						
	II 諸経費	仕様書のとおり	式	1			③+④+⑤の合計
	【諸経費内訳】						
	③共通仮設費	仕様書のとおり	式	1			建築及び管工事合算分
	④現場管理費（法定福利費等含む）	仕様書のとおり	式	1			建築及び管工事合算分
	⑤一般管理費等	仕様書のとおり	式	1			建築及び管工事合算分
		ー以下余白ー					
備考							

※市場価格(市価)は消費税及び地方消費税抜きの金額です。

市場価格調査(部分見積)書

令和 8年 月 日

契約担当官
航空自衛隊幹部候補生学校
会計課長 稲吉 博和 殿

住 所
会 社 名
代表者名

工期		契約締結日～令和9年3月31日	工事場所		航空自衛隊奈良基地		
No.	品 名（件名）	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	基地建物内ユニットシャ ワー及び便所改修その他工 事						
	別紙のとおり						
		ー以下余白ー					
工事期間 (入札日～工事完了までの期 間)(参考)		約 か月					

※市場価格調査(部分見積)は消費税及び地方消費税抜きの金額です。
※部分見積のため、部分見積の総額記載不要 別紙の各項の単価及び金額のみ記載
*No.23、26、27、28、29、30、31については、石油生成関連品目のため、見積採用単価を入札参加業者に対して見
積参考資料にて交付予定

市場価格調査(部分見積)

[illegible]